

Title	ミシェル・カルージュ研究
Sub Title	Michel Carrouges, his life and work
Author	新島, 進(Nijima, Susumu)
Publisher	慶應義塾大学
Publication year	2018
Jtitle	学事振興資金研究成果実績報告書 (2017.)
JaLC DOI	
Abstract	2017年3月11日から21日までフランス, パリに滞在し, 主に以下の4つの作業をおこなった。 1, ミシェル・カルージュのご子息であるJean-Louis Couturier氏と会見し, カルージュについての聞き取り調査の2度目をおこなった。水声社より出版が決まっている単著『ミシェル・カルージュ』(シュルレアリスムの25時シリーズの一冊)において, カルージュの伝記を執筆予定であるが, 活字になっている資料はほとんどなく, カルージュの生涯, 友人関係については聞き取り調査に頼るしかない。Jean-Louis Couturier氏はカルージュのご子息であるばかりか, 『独身者機械』のイラストを担当するなど著作とも深く関わっており, その証言は貴重である。今回はパリで開催されていた独身者機械作品のひとつ, 『モレルの発明』にちなむ展覧会のレセプションに招待され, 主催者のThierry Dufrêne氏とも会見, カルージュについて議論を交わした。 2, フランス国立図書館で, ミシェル・カルージュについての資料を閲覧, 上記単著の執筆作業をおこなった。 3, フランス国立図書館で, 独身者機械作品のひとつヴィリエ・ド・リラダン伯爵『未来のイヴ』の翻訳作業を進めた。 4, ボルドー大学教授Olivier Bessard-Banquy氏と会見し, 私が編者となってフランスで刊行を計画している Michel Carrouges, Les Machines célibatairesについて打ち合わせをおこなった。Bessard-Banquy氏は本研究のテーマである独身者機械論にも造詣が深い。原稿が出来次第, フランスのいくつかの出版社にあたることを約束してくれた。 著作『ミシェル・カルージュ』の刊行予定が近づいているが, Jean-Louis Couturier氏にはさらなるインタビューが必要であると感じている。今回の調査を本年度中にまとめ, 夏季ないしは春季休暇において, 第3回目の聞き取り調査をおこなう予定である。 I stayed in Paris, France March 2017, and carried out the following four works. 1, an interview with Mr. Jean-Louis Couturier who is a son of Michel Carrouges. 2, a research of documents at the French National Library. 3, the translation of "Future Eve", one of "the bachelor machines", into Japanese. 4. a meeting with Professor Olivier Bessard-Banquy, to publish in France Michel Carrouges' "The bachelor machines". I need another interview with Mr. Jean-Louis Couturier during summer or spring vacation 2018 for finishing my work.
Notes	
Genre	Research Paper
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=2017000001-20170135

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

研究代表者	所属	経済学部	職名	教授	補助額	500（特B）千円
	氏名	新島 進	氏名（英語）	Susumu NIIJIMA		
研究課題（日本語）						
ミシェル・カルージュ研究						
研究課題（英訳）						
Michel Carrouges, his life and work						
1. 研究成果実績の概要						
2017 年 3 月 11 日から 21 日までフランス、パリに滞在し、主に以下の 4 つの作業をおこなった。 1、ミシェル・カルージュのご子息である Jean-Louis Couturier 氏と会見し、カルージュについての聞き取り調査の 2 度目をおこなった。水声社より出版が決まっている単著『ミシェル・カルージュ』（シュルレアリスムの 25 時シリーズの一冊）において、カルージュの伝記を執筆予定であるが、活字になっている資料はほとんどなく、カルージュの生涯、友人関係については聞き取り調査に頼るしかない。Jean-Louis Couturier 氏はカルージュのご子息であるばかりか、『独身者機械』のイラストを担当するなど著作とも深く関わっており、その証言は貴重である。今回はパリで開催されていた独身者機械作品のひとつ、『モレルの発明』にちなむ展覧会のレセプションに招待され、主催者の Thierry Dufrêne 氏とも会見、カルージュについて議論を交わした。 2、フランス国立図書館で、ミシェル・カルージュについての資料を閲覧、上記単著の執筆作業をおこなった。 3、フランス国立図書館で、独身者機械作品のひとつヴィリエ・ド・リラダン伯爵『未来のイヴ』の翻訳作業を進めた。 4、ボルドー大学教授 Olivier Bessard-Banquy 氏と会見し、私が編者となってフランスで刊行を計画している Michel Carrouges, Les Machines célibataires について打ち合わせをおこなった。Bessard-Banquy 氏は本研究のテーマである独身者機械論にも造詣が深い。原稿が出来次第、フランスのいくつかの出版社にあたることを約束してくれた。 著作『ミシェル・カルージュ』の刊行予定が近づいているが、Jean-Louis Couturier 氏にはさらなるインタビューが必要であると感じている。今回の調査を本年度中にまとめ、夏季ないしは春季休暇において、第 3 回目の聞き取り調査をおこなう予定である。						
2. 研究成果実績の概要（英訳）						
I stayed in Paris, France March 2017, and carried out the following four works. 1, an interview with Mr. Jean-Louis Couturier who is a son of Michel Carrouges. 2, a research of documents at the French National Library. 3, the translation of "Future Eve", one of "the bachelor machines", into Japanese. 4. a meeting with Professor Olivier Bessard-Banquy, to publish in France Michel Carrouges' "The bachelor machines". I need another interview with Mr. Jean-Louis Couturier during summer or spring vacation 2018 for finishing my work.						
3. 本研究課題に関する発表						
発表者氏名 （著者・講演者）	発表課題名 （著書名・演題）	発表学術誌名 （著書発行所・講演学会）	学術誌発行年月 （著書発行年月・講演年月）			
新島進	ブレる皮膚——光学器機幻想と （皮膚-自我）	日本人形玩具学会表象遊戯学研 究部 2018 年度第 4 回会部会	2018 年 3 月 24 日			
新島進	ブレる皮膚——光学器機幻想と （皮膚-自我）	日本人形玩具学会誌第 28 号	2018 年 3 月			